

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成27年4月】

■調査概要（データ対象期間：平成27年4月1日～4月30日）

- 調査期間：平成27年4月30日～5月22日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送によるアンケート調査
- 回収状況：建設業20企業、製造業20企業、卸売業16企業、小売業33企業
飲食業12企業、サービス41企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計142企業>
- 調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅が減少・水準DIはマイナス幅が拡大

1. 業況判断

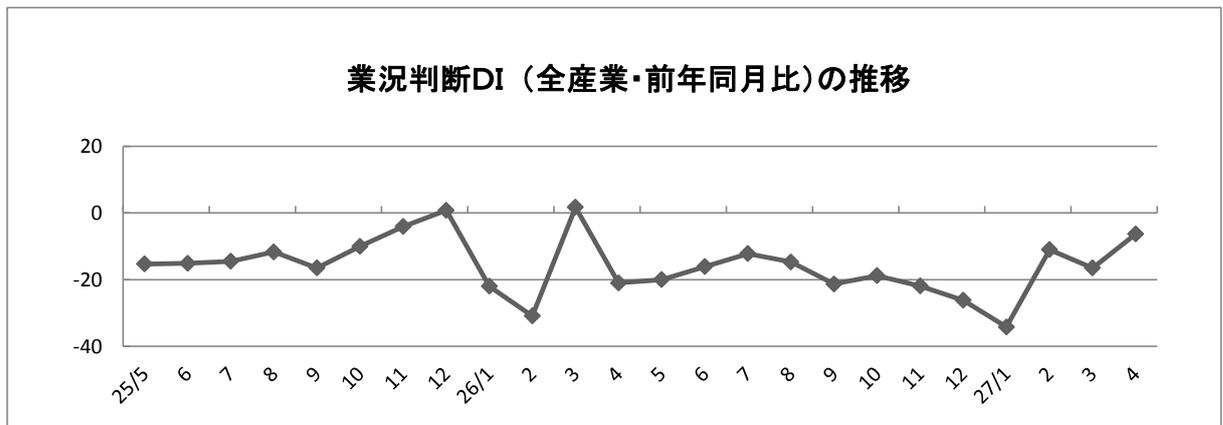
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲16.5）よりマイナス幅が10.2ポイント縮小し、▲6.3となった。業種別では、サービス業、製造業がマイナスからプラスとなり、飲食業がプラスからマイナスとなった。建設業、卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲15.1）よりマイナス幅が1.8ポイント拡大し、▲16.9となった。業種別では、サービス業はマイナスからプラスに転じ、建設業は変化がなかった。飲食業は0からマイナスとなり、製造業、小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

| | 業況[前年同月比] | | | | 今月の水準 | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|--------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| | 好転% | 不変% | 悪化% | DI | 良い% | 普通% | 悪い% | DI |
| 合計 | 15.5 (12.8) | 62.7 (57.9) | 21.8 (29.3) | ▲6.3 (▲16.5) ↗ | 12.0 (13.5) | 59.1 (57.9) | 28.9 (28.6) | ▲16.9 (▲15.1) ↘ |
| 建設業 | 20.0 (6.3) | 50.0 (56.2) | 30.0 (37.5) | ▲10.0 (▲31.2) ↗ | 10.0 (0.0) | 55.0 (75.0) | 35.0 (25.0) | ▲25.0 (▲25.0) → |
| 製造業 | 25.0 (0.0) | 55.0 (70.0) | 20.0 (30.0) | 5.0 (▲30.0) ↗ | 15.0 (15.0) | 60.0 (65.0) | 25.0 (20.0) | ▲10.0 (▲5.0) ↘ |
| 卸売業 | 18.8 (6.7) | 56.2 (53.3) | 25.0 (40.0) | ▲6.2 (▲33.3) ↗ | 6.3 (13.3) | 56.2 (53.4) | 37.5 (33.3) | ▲31.2 (▲20.0) ↘ |
| 小売業 | 9.1 (16.7) | 54.5 (46.6) | 36.4 (36.7) | ▲27.3 (▲20.0) ↘ | 12.1 (20.0) | 42.4 (33.3) | 45.5 (46.7) | ▲33.4 (▲26.7) ↘ |
| 飲食業 | 8.3 (25.0) | 75.0 (58.3) | 16.7 (16.7) | ▲8.4 (8.3) ↘ | 8.3 (25.0) | 66.7 (50.0) | 25.0 (25.0) | ▲16.7 (0.0) ↘ |
| サービス業 | 14.6 (17.5) | 78.1 (62.5) | 7.3 (20.0) | 7.3 (▲2.5) ↗ | 14.6 (10.0) | 73.2 (70.0) | 12.2 (20.0) | 2.4 (▲10.0) ↗ |

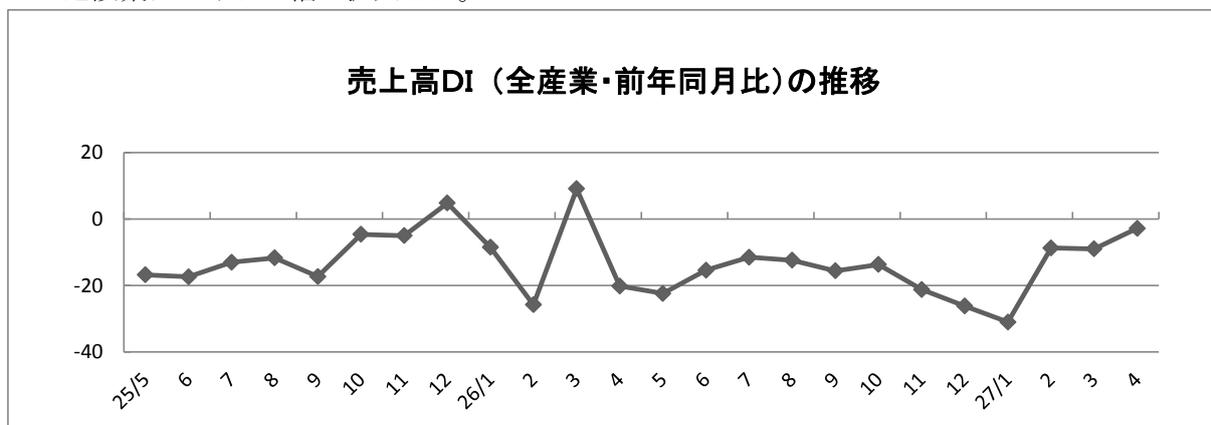
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲9.0）よりマイナス幅が6.2ポイント縮小し、▲2.8となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大した。製造業がマイナスからプラスに転じ、卸売業はマイナスから0になった。飲食業はプラスからマイナスに転じ、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

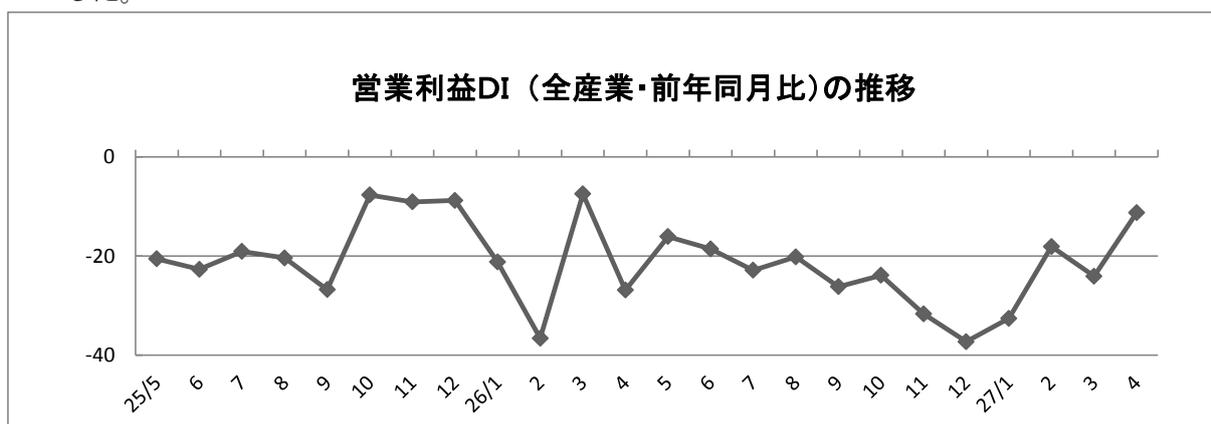


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全 体 | ▲ 20.2 | ▲ 22.4 | ▲ 15.4 | ▲ 11.5 | ▲ 12.4 | ▲ 15.6 | ▲ 13.7 | ▲ 21.2 | ▲ 26.2 | ▲ 31.0 | ▲ 8.7 | ▲ 9.0 | ▲ 2.8 |
| 建設業 | 14.3 | ▲ 23.5 | 0.0 | 12.5 | 5.9 | ▲ 14.3 | ▲ 13.4 | ▲ 6.7 | ▲ 17.7 | ▲ 37.5 | ▲ 31.3 | ▲ 6.2 | ▲ 15.0 |
| 製造業 | ▲ 45.5 | ▲ 50.0 | ▲ 30.0 | ▲ 19.0 | ▲ 28.6 | ▲ 10.5 | ▲ 23.5 | ▲ 33.3 | ▲ 19.1 | ▲ 30.0 | ▲ 13.0 | ▲ 25.0 | 5.0 |
| 卸売業 | ▲ 23.5 | ▲ 25.0 | 5.9 | ▲ 12.5 | ▲ 5.9 | 0.0 | ▲ 12.5 | ▲ 43.8 | ▲ 31.3 | ▲ 25.0 | ▲ 6.3 | ▲ 26.7 | 0.0 |
| 小売業 | ▲ 40.9 | ▲ 38.1 | ▲ 24.0 | ▲ 29.2 | ▲ 7.7 | ▲ 37.0 | ▲ 27.0 | ▲ 29.2 | ▲ 50.0 | ▲ 48.3 | ▲ 11.5 | ▲ 16.6 | ▲ 21.2 |
| 飲食業 | 10.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 10.0 | ▲ 44.4 | ▲ 50.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | 0.0 | ▲ 22.2 | 27.3 | 8.3 | ▲ 8.4 |
| サービス業 | ▲ 11.7 | ▲ 2.5 | ▲ 5.7 | ▲ 5.8 | ▲ 10.2 | 0.0 | 3.1 | ▲ 5.0 | ▲ 24.3 | ▲ 19.5 | ▲ 5.7 | 5.0 | 14.7 |

3. 営業利益D I（前年同月比）

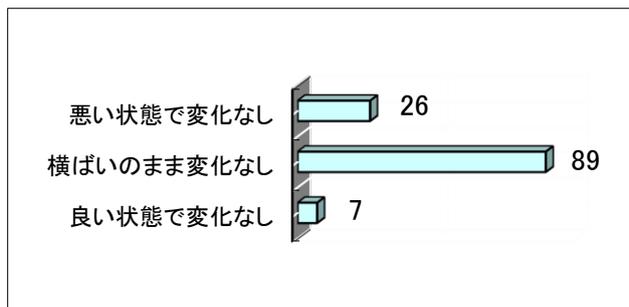
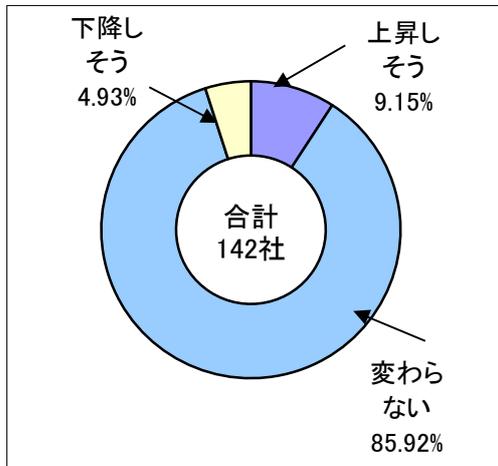
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲24.1）よりマイナス幅が12.8ポイント縮小し、▲11.3となった。業種別に見ると、サービス業がマイナスからプラスに転じ、建設業、卸売業、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業は0からマイナスになり、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全 体 | ▲ 26.9 | ▲ 16.1 | ▲ 18.6 | ▲ 22.9 | ▲ 20.2 | ▲ 26.2 | ▲ 23.9 | ▲ 31.7 | ▲ 37.3 | ▲ 32.6 | ▲ 18.1 | ▲ 24.1 | ▲ 11.3 |
| 建設業 | ▲ 21.4 | ▲ 5.9 | ▲ 13.4 | ▲ 12.5 | ▲ 17.6 | ▲ 42.9 | ▲ 33.3 | ▲ 13.4 | ▲ 35.3 | ▲ 37.5 | ▲ 31.3 | ▲ 25.0 | ▲ 20.0 |
| 製造業 | ▲ 40.9 | ▲ 41.6 | ▲ 30.0 | ▲ 33.3 | ▲ 38.1 | ▲ 26.3 | ▲ 23.5 | ▲ 50.0 | ▲ 28.6 | ▲ 35.0 | ▲ 26.1 | ▲ 45.0 | ▲ 10.0 |
| 卸売業 | ▲ 23.6 | ▲ 31.3 | ▲ 11.7 | ▲ 18.7 | 0.0 | ▲ 20.0 | ▲ 25.0 | ▲ 56.3 | ▲ 62.5 | ▲ 37.5 | ▲ 31.2 | ▲ 40.0 | ▲ 6.2 |
| 小売業 | ▲ 40.9 | ▲ 19.0 | ▲ 20.0 | ▲ 33.3 | ▲ 15.4 | ▲ 40.7 | ▲ 27.0 | ▲ 29.2 | ▲ 41.7 | ▲ 34.5 | ▲ 19.3 | ▲ 30.0 | ▲ 39.4 |
| 飲食業 | 0.0 | ▲ 16.6 | ▲ 50.0 | ▲ 20.0 | ▲ 44.4 | ▲ 60.0 | ▲ 30.0 | ▲ 40.0 | ▲ 36.4 | ▲ 33.3 | 27.3 | 0.0 | ▲ 16.7 |
| サービス業 | ▲ 20.6 | 2.5 | ▲ 5.7 | ▲ 17.1 | ▲ 17.9 | ▲ 2.7 | ▲ 15.1 | ▲ 20.0 | ▲ 29.7 | ▲ 25.0 | ▲ 14.3 | ▲ 10.0 | 14.6 |

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



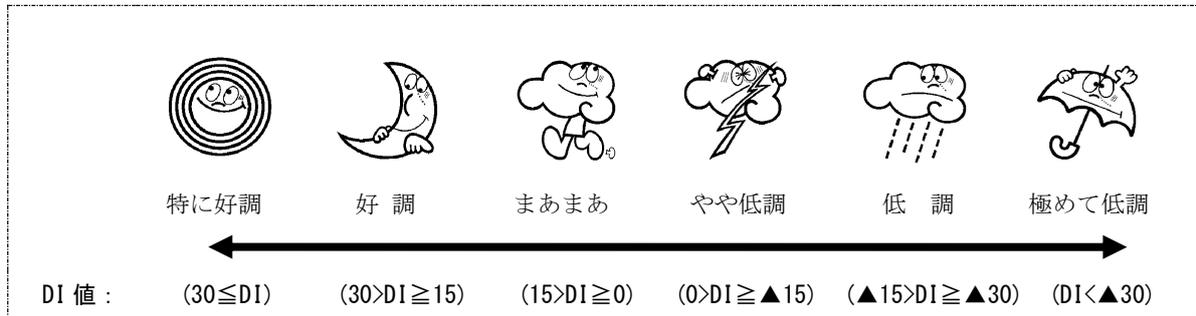
○平成27年5月～平成27年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.13ポイント拡大し9.15%、「下降しそう」が5.6ポイント減少し4.93%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.0)、製造業(5.0)、卸売業(6.3)、小売業(6.1)、飲食業(16.7)、サービス業(2.5)であった。

➡「上昇しそう」では、「鉄骨工事の受注が増えているため」(建設業)、「法規制対応の特需」「ガスメータ需要増加のため」(製造業)、「ギフト需要が見込めるため」(小売業)、「ゴールデンウィーク、クラフト展で人出が見込めるため」(飲食業)、「景気が良くなっているように感じられるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

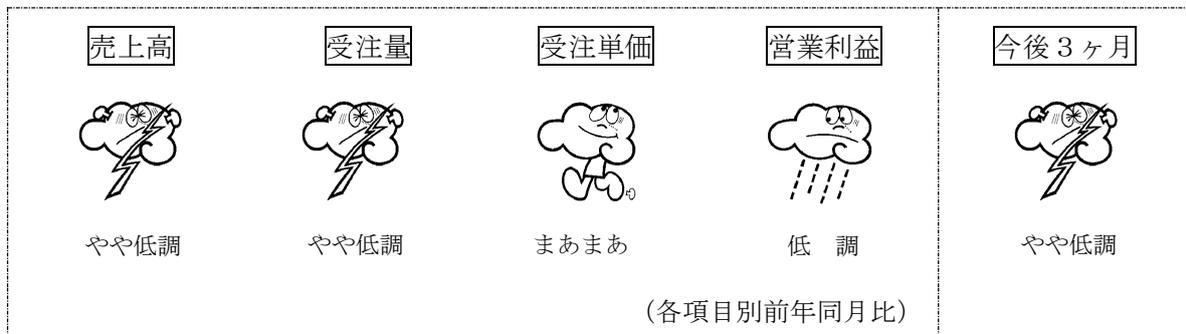
➡「下降しそう」では、「得意先の受注物件が少ない」「見積件数が減少している」(建設業)、「受注件数が減少している」(製造業)、「所得が上がらないのか、お客様の財布の紐が固く感じる」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI 君の景況判断>



1. 建設業



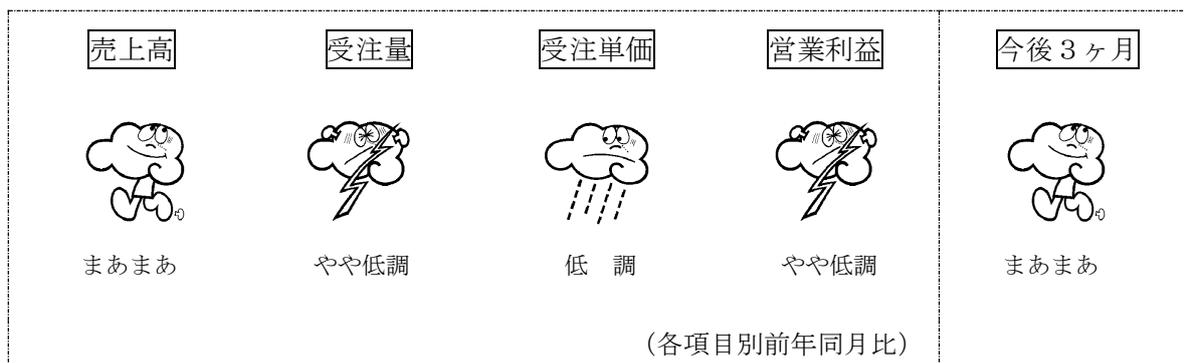
【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 14.3 | ▲23.5 | 0.0 | 12.5 | 5.9 | ▲14.3 | ▲13.4 | ▲6.7 | ▲17.7 | ▲37.5 | ▲31.3 | ▲6.2 | ▲15.0 |
| 受注量 | ▲7.2 | ▲29.4 | ▲13.4 | 6.3 | ▲11.7 | ▲21.5 | ▲33.4 | ▲13.3 | ▲47.0 | ▲43.8 | ▲31.2 | ▲18.8 | ▲15.0 |
| 受注単価 | 0.0 | ▲5.8 | ▲6.6 | ▲12.5 | ▲11.7 | ▲14.3 | ▲26.6 | 0.0 | ▲17.6 | ▲18.7 | ▲6.3 | ▲6.2 | 0.0 |
| 営業利益 | ▲21.4 | ▲5.9 | ▲13.4 | ▲12.5 | ▲17.6 | ▲42.9 | ▲33.3 | ▲13.4 | ▲35.3 | ▲37.5 | ▲31.3 | ▲25.0 | ▲20.0 |
| 見通し | ▲7.2 | ▲11.8 | 0.0 | ▲18.8 | ▲11.8 | 0.0 | ▲6.6 | 0.0 | ▲5.9 | ▲6.3 | 6.2 | 6.3 | ▲5.0 |

<経営者の目・見方・etc>

- 管工事
 - 建設工事
 - 建築工事
 - 石材
 - 鉄工
 - 電気工事
 - 土木工事
- ・ここ2ヵ月ほど受注量が少ない。公共事業も6月以降の見込み。
 - ・最近になり、県内外の鉄骨工事の発注量が増えている。
 - ・昨年と比べると動きが悪い。
 - ・新年度になったので公共の仕事に期待したい。
 - ・消費税増税の反動がまだ続いているのか、なかなか上向かないため今後の心配である。また、業界全体が低調である。
 - ・依然堅調に推移している。
 - ・県議、市議の改選も終わったが、これといった変化はなく、静かな新年度の幕開けである。
 - ・4月、5月は資材メーカーが5%~10%程値上げした。それらを吸収するのが大変である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | ▲45.5 | ▲50.0 | ▲30.0 | ▲19.0 | ▲28.6 | ▲10.5 | ▲23.5 | ▲33.3 | ▲19.1 | ▲30.0 | ▲13.0 | ▲25.0 | 5.0 |
| 受注量 | ▲40.9 | ▲45.8 | ▲25.0 | ▲19.1 | ▲23.8 | ▲10.5 | ▲23.5 | ▲44.5 | ▲19.0 | ▲35.0 | ▲17.4 | ▲30.0 | ▲5.0 |
| 受注単価 | ▲22.8 | ▲29.2 | ▲25.0 | ▲23.8 | ▲23.8 | ▲31.6 | ▲23.5 | ▲22.2 | ▲23.8 | ▲20.0 | ▲21.7 | ▲30.0 | ▲25.0 |
| 営業利益 | ▲40.9 | ▲41.6 | ▲30.0 | ▲33.3 | ▲38.1 | ▲26.3 | ▲23.5 | ▲50.0 | ▲28.6 | ▲35.0 | ▲26.1 | ▲45.0 | ▲10.0 |
| 見通し | ▲18.2 | ▲8.3 | ▲5.0 | ▲9.5 | ▲23.8 | ▲10.5 | ▲11.7 | 0.0 | 0.0 | ▲5.0 | ▲4.4 | ▲20.0 | 5.0 |

<経営者の目・見方・etc>

菓子

・1年間で1番良い売上有る4月が悪く、落胆した。原料の中でも小麦粉、油脂の値上げが予告され、いよいよ販売単価の値上げを決断しなければと思う。売上を求めるか、利益を重視するか迷っている。

金属塗装

・新聞紙上で騒がれている程、景気は良くないと感じる。中小企業にはまだ、円安、株高の好影響が出ていない。むしろ円安で材料、原油等が高くなり採算を悪くしている。

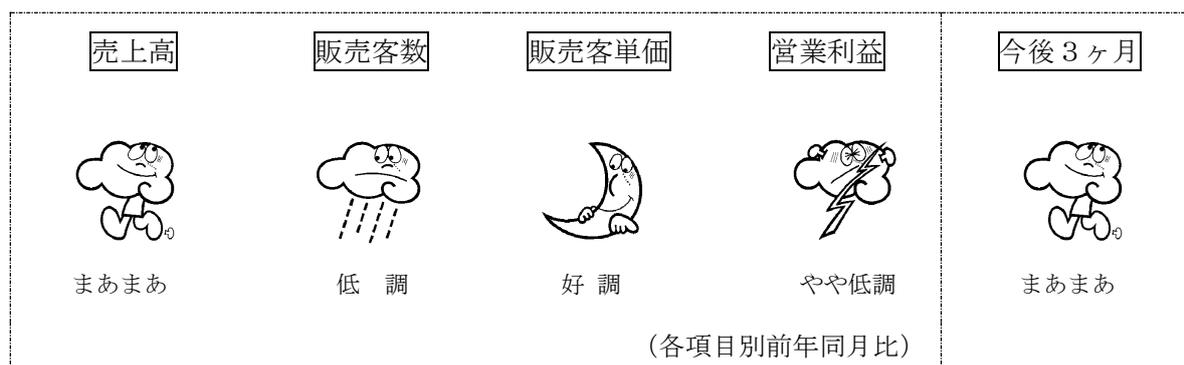
豆腐

・豆腐業界は大豆等の原材料の高騰に悩まされている。商品の値上げも難しい状態である。

木製品

・受注予定の仕事が止まってしまった。

3. 卸売業



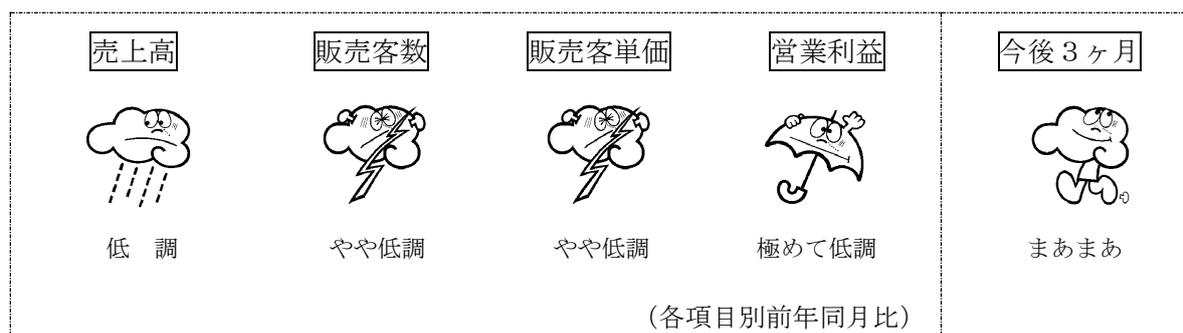
【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | ▲23.5 | ▲25.0 | 5.9 | ▲12.5 | ▲5.9 | 0.0 | ▲12.5 | ▲43.8 | ▲31.3 | ▲25.0 | ▲6.3 | ▲26.7 | 0.0 |
| 販売客数 | ▲5.8 | ▲25.0 | ▲11.7 | ▲12.5 | ▲23.5 | ▲13.3 | ▲12.5 | ▲18.7 | ▲12.5 | ▲18.7 | ▲6.2 | ▲13.3 | ▲18.7 |
| 販売客単価 | ▲11.7 | ▲6.3 | ▲17.6 | ▲25.0 | ▲17.6 | ▲20.0 | ▲25.0 | ▲12.5 | ▲18.8 | ▲18.7 | ▲12.5 | 0.0 | 18.7 |
| 営業利益 | ▲23.6 | ▲31.3 | ▲11.7 | ▲18.7 | 0.0 | ▲20.0 | ▲25.0 | ▲56.3 | ▲62.5 | ▲37.5 | ▲31.2 | ▲40.0 | ▲6.2 |
| 見通し | 17.6 | 0.0 | 5.9 | ▲6.2 | ▲11.8 | 0.0 | 0.0 | ▲6.3 | ▲12.5 | 0.0 | 0.0 | ▲20.0 | 6.3 |

<経営者の目・見方・etc>

- 機械工具
 - ・消費税増税前の駆け込み需要の影響があった昨年4月と比べると売り上げは多くなるが、あまり良くない。とにかく不安定な売上が続く。
- 機械工具
 - ・報道されている様な好景気でない。決算期を迎え集計中だが、前期並みのように感じる。先行きが良くなるか不透明である。
- 金属製品
 - ・市場が4月から5月にかけて低迷する中、継続案件により売上、営業利益は確保できた。現在、工事関係で大口案件は行われていない。
- 青果
 - ・2月、3月と続いた曇天の影響がまだ続き、野菜、果物総じて入荷減の単価高が続いている。善光寺の御開帳や新幹線の金沢開通など長野県のニュースがあった月ではあったが消費動向に影響はなかった。
- 土産品
 - ・観光土産業界ではインバウンド向け商品を増やし対応をしているが、売上の増加には至っていない。長野市と比較するとかなり厳しい状況であるが、ゴールデンウィークに期待している。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | ▲ 40.9 | ▲ 38.1 | ▲ 24.0 | ▲ 29.2 | ▲ 7.7 | ▲ 37.0 | ▲ 27.0 | ▲ 29.2 | ▲ 50.0 | ▲ 48.3 | ▲ 11.5 | ▲ 16.6 | ▲ 21.2 |
| 販売客数 | ▲ 59.1 | ▲ 42.8 | ▲ 24.0 | ▲ 25.0 | ▲ 15.4 | ▲ 44.5 | ▲ 42.4 | ▲ 25.0 | ▲ 37.5 | ▲ 41.4 | ▲ 30.8 | ▲ 40.0 | ▲ 12.1 |
| 販売客単価 | ▲ 18.2 | ▲ 4.8 | ▲ 4.0 | ▲ 8.4 | ▲ 11.5 | ▲ 33.3 | ▲ 11.5 | ▲ 20.8 | ▲ 20.8 | ▲ 31.1 | 3.8 | ▲ 13.3 | ▲ 6.0 |
| 営業利益 | ▲ 40.9 | ▲ 19.0 | ▲ 20.0 | ▲ 33.3 | ▲ 15.4 | ▲ 40.7 | ▲ 27.0 | ▲ 29.2 | ▲ 41.7 | ▲ 34.5 | ▲ 19.3 | ▲ 30.0 | ▲ 39.4 |
| 見通し | ▲ 4.5 | ▲ 14.2 | ▲ 8.0 | 4.1 | ▲ 3.8 | ▲ 3.7 | ▲ 7.7 | 0.0 | ▲ 8.3 | 6.9 | 3.9 | 6.7 | 6.1 |

<経営者の目・見方・etc>

ショッピングセンター

・気温の変化が大きく衣料品は影響を受けた。一方、家具、雑貨、身の回りの品などは前年を上回りはじめ、明るい兆しが見え始めてきた。

パン

・天候が不安定で販売に影響が出た。野菜類が高く、原価に影響が出た。昨年と比べ、お花見以降の観光客が少ないと感じる。長野、金沢に持っていかれている。松本は陸の孤島になりつつある。

・売上は前年並みだが、毎週の原材料の値上げに、この業界の行く末が懸念される。安易に価格の上乗せでいいのか悩んでいる。

パン・菓子

・景気動向の良し悪しに各社の差がかなりある。

菓子

・菓子業界もなかなか景気が回復せず、原材料、包装資材等の価格上昇による廃業が多い。観光都市として、松本の菓子の良さをPRし、リピーターを増やしたい。業界の若い後継者に新しい菓子を開発して欲しい。

印章

・20日まで雨が降り、人出も少なかった為、商売に影響した。以後は晴天続きとなり、なんとか例年並みの商いとなった。近頃の印章文字はあまりにも模倣化されていて文字とは言いがたい印鑑が氾濫している。特に海外で作って持ち帰る印は目を覆いたくなる。

・アルウィンでゲームの無い週末に「おらが酒、飲み歩き」のような企画を、毎回開催してもらえると、市街地のにぎわいに繋がると思う。

観光物産

・日本人の観光客(団体)が少ないが外国人観光客は多い。4月末からの連休に期待している。

住宅機器

・増税が先送りされ、エンドユーザーの購買意欲も先送りされてしまったように感じる。

書籍

・前年と比較しても売り上げはかなり落ち込んだ。新学期の個人需要を引き出す事が出来なかった。

生鮮食品

・昨年の4月よりは仕入も売り上げも良かったが、去年が悪かったのであまり安心できない。4月を待っていたかの様に仕入値が上がった。決算が終わり、消費税額に驚いている。

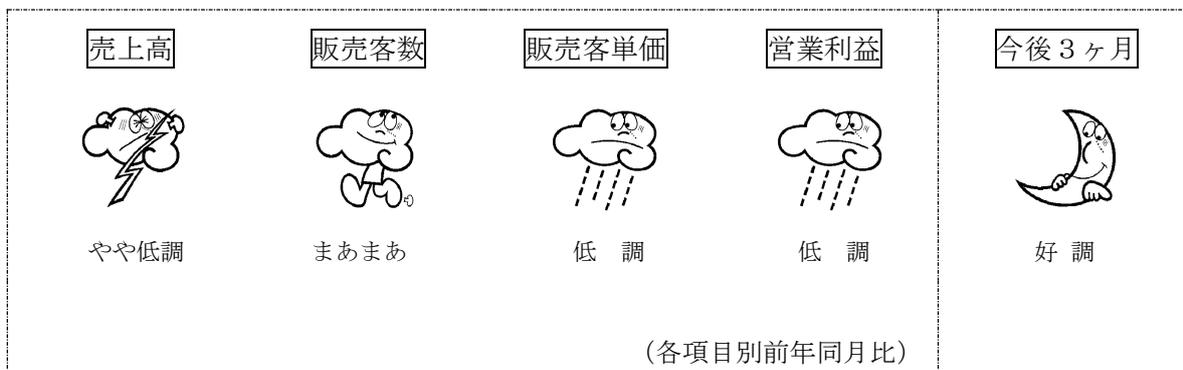
陶磁器

・例年、桜が咲くと花見客で賑わうのだが、開花宣言以降長雨にたたられ、今年の花見商戦は残念な結果となった。最近、松本市の投票所では、「投票記念カード」を配布するようになった。投票率の向上と地域商業の活性化を

燃料
味噌・しょうゆ
薬局

狙った事例が県外にはたくさんあるため、今後の選管の動向に注目したい。
 ・燃料の仕入価格が上昇している。
 ・相変わらず原料価格が高い。
 ・消費税増額の影響が大きすぎて、昨年4月と比較できない。現在、売り上げは低調のままである。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 売上高 | 10.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 10.0 | ▲ 44.4 | ▲ 50.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | 0.0 | ▲ 22.2 | 27.3 | 8.3 | ▲ 8.4 |
| 販売客数 | 10.0 | ▲ 16.6 | ▲ 50.0 | ▲ 10.0 | ▲ 33.3 | ▲ 50.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | 0.0 | ▲ 11.1 | 36.4 | 8.3 | 0.0 |
| 販売客単価 | 0.0 | ▲ 8.3 | ▲ 25.0 | ▲ 10.0 | ▲ 22.2 | ▲ 40.0 | ▲ 30.0 | ▲ 50.0 | ▲ 18.2 | ▲ 11.1 | ▲ 9.1 | ▲ 8.4 | ▲ 16.7 |
| 営業利益 | 0.0 | ▲ 16.6 | ▲ 50.0 | ▲ 20.0 | ▲ 44.4 | ▲ 60.0 | ▲ 30.0 | ▲ 40.0 | ▲ 36.4 | ▲ 33.3 | 27.3 | 0.0 | ▲ 16.7 |
| 見通し | 30.0 | ▲ 16.7 | 8.3 | 0.0 | ▲ 22.2 | ▲ 50.0 | ▲ 40.0 | ▲ 30.0 | ▲ 27.3 | 0.0 | 36.4 | 16.7 | 16.7 |

<経営者の目・見方・etc>

- カレー
 ・4月としては暖かい日が何日もあり、人の出は良かったと思うが、買い物をしないで歩いている人が多い様に感じた。店は平年並みであった。
- そば
 ・今年のお花見は過去に経験した事のない雨、雪、低温といった悪条件で、花見期間中の晴れて暖かい日は2日位であった。人出も例年に比べて少なく、原材料価格の値上げ等今後の不安材料が付きにくい。
- 郷土料理
 ・開花と共に人の流れも増してほっとしたが、夜桜会の数日間は寒く、雨になり残念であった。4月末の連休前半は静かだったが、善光寺御開帳の影響かバス団体客の問い合わせが多かった。
- 仕出し料理
 ・新年度の切り替わりで会議用のお弁当や仕出し料理が例年より多く、春の山菜、旬の竹の子、新鮮な魚料理を提供することができた。
- 寿司
 ・松本特有の寒い時期がやっと終わり、いよいよ春爛漫である。桜の花が咲く時期は誰もが心浮き浮きで開放的になる。1年の中でもこの季節がいろいろな意味で一番良い時期だと思う。飲食業も頑張りどころだ。

6. サービス業

| | | | | |
|---|---|---|--|---|
| 売上高 | 販売客数 | 販売客単価 | 営業利益 | 今後3ヶ月 |
|  |  |  |  |  |
| まあまあ | まあまあ | まあまあ | まあまあ | まあまあ |
| (各項目別前年同月比) | | | | |

【項目別DIの推移】

| | 26年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 27年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 売上高 | ▲11.7 | ▲2.5 | ▲5.7 | ▲5.8 | ▲10.2 | 0.0 | 3.1 | ▲5.0 | ▲24.3 | ▲19.5 | ▲5.7 | 5.0 | 14.7 |
| 販売客数 | ▲20.6 | ▲2.5 | ▲8.6 | ▲11.4 | ▲7.7 | 0.0 | ▲21.2 | ▲15.0 | ▲21.6 | ▲25.0 | ▲11.4 | ▲2.5 | 12.2 |
| 販売客単価 | ▲14.7 | ▲5.0 | ▲8.6 | ▲2.8 | ▲5.1 | ▲5.4 | ▲6.1 | ▲10.0 | ▲5.4 | ▲11.1 | ▲11.4 | ▲2.5 | 4.9 |
| 営業利益 | ▲20.6 | 2.5 | ▲5.7 | ▲17.1 | ▲17.9 | ▲2.7 | ▲15.1 | ▲20.0 | ▲29.7 | ▲25.0 | ▲14.3 | ▲10.0 | 14.6 |
| 見通し | ▲5.9 | 10.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | ▲6.1 | ▲2.5 | 0.0 | 2.7 | 14.2 | 0.0 | 2.5 |

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|-------------|--|
| クリーニング・リネン業 | ・昨年は消費税増税の駆け込み需要による反動を受けて4月は売上げを大きく落としたが、4月の売上前年対比119%増、今年の3月と4月の前月対比は105%増である。 |
| タクシー | ・前年悪かった客数が今年は増えたので、売上高も多少上がった。月の後半には美ヶ原高原や上高地等で開山祭が行われ、観光シーズンに入った。 |
| ペットサービス | ・来店数、売上高は前年を若干下回った。今後はゴールデンウィークの動向に注目したい。 |
| ホテル | <ul style="list-style-type: none"> ・宴会、宿泊(インバウンド)は好調である。新幹線延伸、善光寺御開帳の影響が始めているので今後に期待したい。 ・宿泊については御開帳の影響もあり好調だが、宴会、会議については消費税増税後伸び悩んでいる。 ・新幹線延伸については大きな影響はみられないが、善光寺御開帳に伴う需要についてはレストランを中心に影響があった。5月についても引き続き影響はあると思われるが、6月以降については動きが鈍くなりそうだ。 |
| 温泉旅館 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様との会話から景気が回復していると感じられる。山雅のホーム戦では相手チームのサポーターが1~2組宿泊した。 ・天候にも恵まれ、宿泊が増えた。特にビジネスのお客様が最も多く、観光のお客様も松本城のライトアップと桜に満足していた。 ・北陸新幹線の延伸、善光寺御開帳など、当地方にとっては、マイナス要因になる |

のかと思ったが、上高地開山祭は好天に恵まれ、月曜日にも関わらず、大勢のお客様が訪れた。上高地の残雪は平年並みだが、檜、穂高の稜線は、異常なほどに少なく、これも異常気象のせいなのだろうか。相変わらず、雪を見に訪れる日帰りの台湾団体客が非常に多い。

- 旅館・長野市へ観光に来たお客様もこちらまで来ていた。
- マッサージ・来客数は増えたが、人手不足である。
- 介護サービス・介護保険制度の改定による諸届け業務に混雑が生じているが、今後の見直しを考える時間がとれない。報酬減額を補うための加算獲得は条件となる諸々のハードルが高い為、小規模事業者は困窮している。
- 機械設計・大手各社は利益を出しているが、中小企業はなかなか利益を出すまでには至っていない様に思われる。単価は厳しい状況である。
- 自動車整備・4月なのに夏の様な暑さであった。春がないまま過ぎてしまうと仕事量に影響する。特にエアコンの不具合等が多くなり、タイヤの売れ行きが悪くなる。四季はきちんとあるべきだと思う。
- 獣医・3月の売上がいつもより悪かったが、4月はかなり持ち直した。しかし、1980年代から言われ続けた犬の「ペットブーム」は全国的に見ても去ってしまい、畜犬登録からみても平成10年度を最高に飼育頭数は20%も下がっている。今後の人口減少から、もっと下がってゆく見通しである。
- 美容・入学シーズンの為、月の前半は好調だったが、後半は売上が伸び悩んだ。5月も例年から見ると静かな月になりそうだが、新商品などが多数出てくる月なので、そこを伸ばしていきたい。
- 理容・今年は動きがあっても単価が上がらない状態。いつもパーマとカラーをするお客様がカットのみなど、節約していると感じる事が多々あった。

